

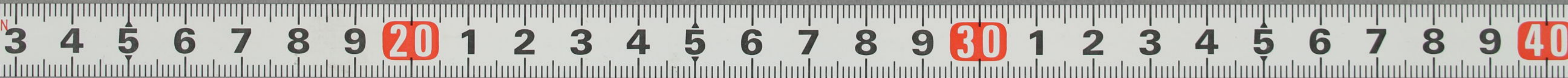
役者  
三々八角文字  
江戸

役者  
三々の角文字  
大坂

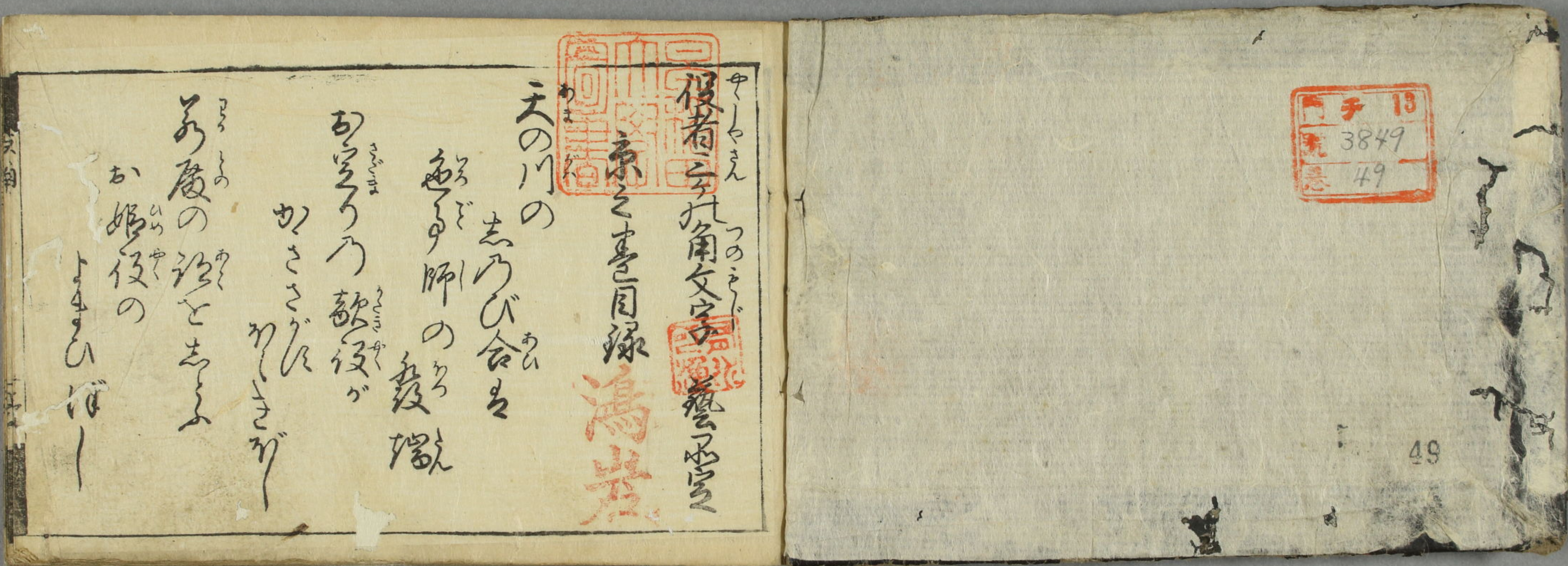
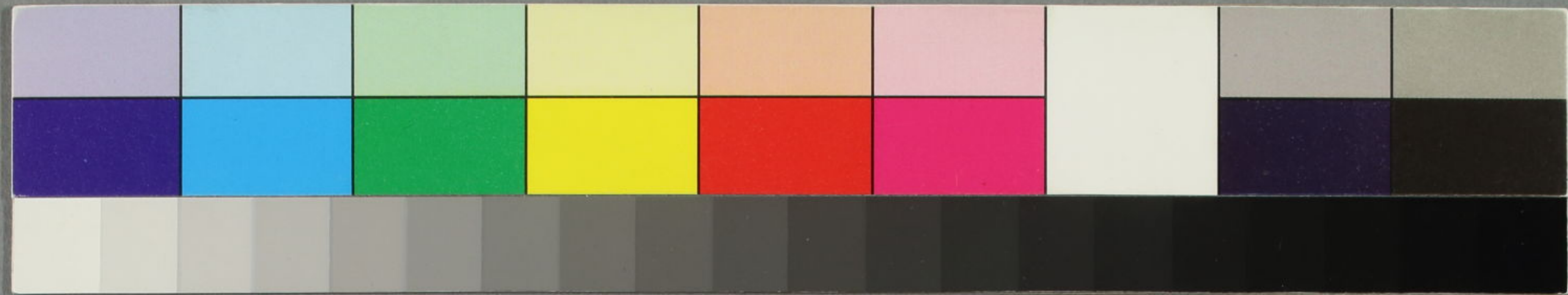
役者  
三々八角文字  
京都

白駒

特別  
子 13  
3849  
49







手 19  
3849  
49

49

伊予守 復者 之 九角文字 蔵 水室



京之書目録 鴻岩

天の川の

志乃び合を

越中師の 後 増

おさささる 敵役が

かささる かしきり

あ後の 記と 志乃

お姫役の

よきいば









上上 中村 京十郎 中村

上上 市井 右衛門 十郎 市井

上上 尾 三又 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 林 右衛門 十郎 尾

上上 尾 三又 十郎 尾

上上 中村 东 十郎 中村

上上 尾 八 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾

上上 尾 十郎 尾



▲ 毛女歌部

上上吉 姉川ふるい 中下庄

上上吉 山科三吉 中下庄

上上吉 山下八百萬 中下庄

上上 山科松又市 中下庄

上上 嵐 三吉 中下庄

上上 嵐 三吉 中下庄

上上 嵐 三吉 中下庄

上上 嵐 三吉 中下庄

上上 嵐 三吉 中下庄

上 花野修勢松 中下庄

上 債尾富之市 中下庄

上 花相松 中下庄

▲ 中下庄名子

中村松平 中村八

中村松平 中村十

中村松平 中村

中村松平 中村

中村松平 中村

中村松平 中村

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄

中下庄



















Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'A', and continues with several lines of dense, flowing script. There are some small, illegible markings and possibly some faint red or blue ink used for emphasis or correction.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'A', and continues with several lines of dense, flowing script. There are some small, illegible markings and possibly some faint red or blue ink used for emphasis or correction.















Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of a letter or document. The text is dense and fills most of the page.

上書



清尾春之院

中書

Handwritten text in a cursive script, continuing the document. The text is dense and fills most of the page.

上書



中子猪八

中書

Handwritten text in a cursive script, continuing the document. The text is dense and fills most of the page.

上上



中村京十郎

























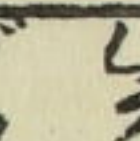
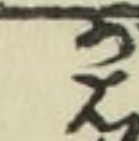
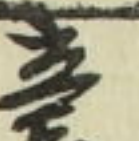

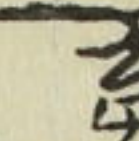
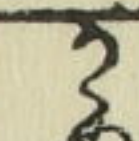


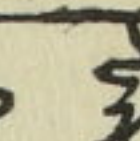
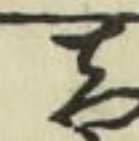

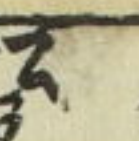
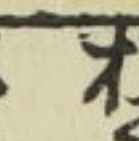






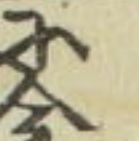
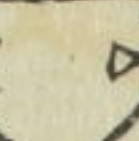
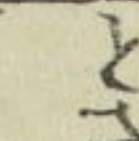
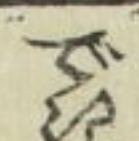
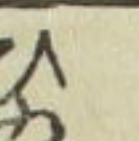
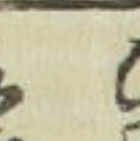
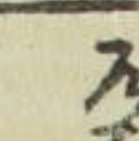

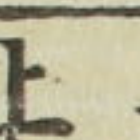


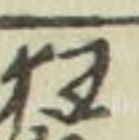

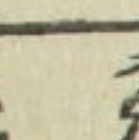
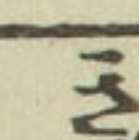
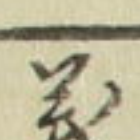
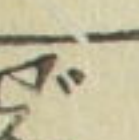



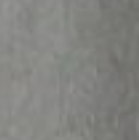


長生のいふ

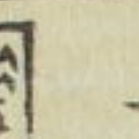
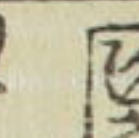
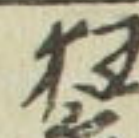

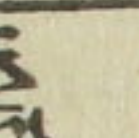
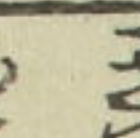
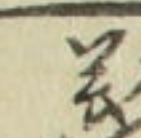



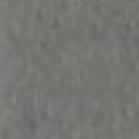
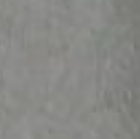
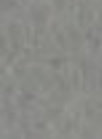
▲善女形之部

上音  姉川みゝとと

長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ

長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ

上上音  神其吉 中々在

長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ  長生のいふ



と通つたものゝ内なるをいふは本に於ては  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
液を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流  
氣を内なるに止むは氣の物もあらず通流

上上 藏 山下八百萬 庄介

図南平の正正と動とをいふは図に於ては  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
はふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ

上上 山科越入布 中平

山科越入布の正正と動とをいふは山科越入布に於ては  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ

上上 山 嵐 之 正 正 中平

山嵐之正正と動とをいふは山嵐に於ては  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ  
ふとく圓の形をいふはふとく圓の形をいふ







中島の女が旅を今かくしは尾成の土着の女  
今もこの地を去る物もいふ國方を知りていふる  
と云ふは旅の女はけしきもあつていふるは  
この女は旅の女はけしきもあつていふるは

上吉 ⑤ 相豊松 中吉

國の富貴は世にありては年々もいふるは  
ては世にありては年々もいふるは  
を年々もいふるは年々もいふるは  
下は世にありては年々もいふるは  
もいふるは年々もいふるは  
事もいふるは年々もいふるは  
るは世にありては年々もいふるは  
さるは世にありては年々もいふるは  
いふるは年々もいふるは  
いふるは年々もいふるは

おとこの女は旅を今かくしは尾成の土着の女  
今もこの地を去る物もいふるは  
と云ふは旅の女はけしきもあつていふるは  
この女は旅の女はけしきもあつていふるは

上吉 ⑥ 以村 國方 中吉

國の富貴は世にありては年々もいふるは  
ては世にありては年々もいふるは  
を年々もいふるは年々もいふるは  
下は世にありては年々もいふるは  
もいふるは年々もいふるは  
事もいふるは年々もいふるは  
るは世にありては年々もいふるは  
さるは世にありては年々もいふるは  
いふるは年々もいふるは  
いふるは年々もいふるは



こころいふことばをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子  
おのほのまをいふもねはまの拍子

女林義家

安永十年

丑正月吉日

永楽園三乗寺

八文字屋八右衛門

アしやん 役者之此角文字 薙山堂

大坂之書目録

書目録

うすしりり

実り熟りの

一進りあ

進りあ

書目録

書目録

書目録

書目録



志乃のぐるき屋敷の

死なうい

師匠まさり

日乃女の号

若女形の

あやうき

うきもの

開運

うづき

ゆめちる

大坂二芝居並渡者同様  
多行極屋九多葉 吉平 高川 山長  
原 大坂吉原 吉平 吉原 吉原

上吉 山下金 他 吉原

上吉 尾上 七 吉原

上吉 中山 吉原

上吉 小川 吉原

上吉 文又 吉原

陽川 吉原 八ツ時



上上 嵐 新 平 芳隆

味ひのこもろくし故戸の

上上 保松七之布 芳隆

粒のこちりよ半 芳隆

上上 中山伝 芳隆

織して又る 芳隆

上上 今村七之布 芳隆

くまらでもみちらうい牡丹

上上 山下五匹布 芳隆

り中かきふゆる粒キ

上上 芳川八 芳隆

本道前て五粒が半は無受

▲実徳実歌と部

上上 嵐 七匹布 芳隆

とくまきよ方の入つて耕引

上上 山村伝 芳隆

存分割がら半一畧

上上 中村伝 芳隆

多しのぞうも女まう

上上 之升 純人 芳隆

あまつらうと出るほららう

功上 中村 芳隆

がのし世と香色一長良

▲歌復と部

上上 坂东岩又布 芳隆

ふつりよまわりの云守平八

上上 三株松又布 芳隆

こらけりいあうす水平細

上上 中村 芳隆

傳刺のほまうてもほら

上 芳川 芳隆

まじりつこの五匹の櫛

上上 伊戸坂 芳隆

日丸

上上 中川 芳隆

芳隆

坊系とわらう坊系



上 芳原下第 上 藤里万第 齊  
上 中村吉次 上 上 崎川善十第 日  
上 中村重亮 日 上 坂东河亮 日  
上 山下左第 日 上 菅原留亮 日  
上 坂东金亮 齊 上 中 山 三 八 美

▲親分芳原下第

上 中川正三第 齊  
上 中村吉次第 齊  
上 坂东左第 齊

▲美女形

上 中村富十第 齊

上 上 吉 三 榊 陸 第 齊

上 上 吉 山下 龍 之 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 中 村 吉 次 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊

上 上 吉 坂 川 山 出 齊



▲芳沢度色分  
尾形 尾形人 尾形  
中村 尾形 尾形  
小川 尾形 尾形  
尾形 尾形 尾形

上上 市山 尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

極上書 中山文七  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川

尾川 尾川 尾川  
尾川 尾川 尾川







此書を讀むに當りては其の意を  
 考へて讀むべし其の意を考へ  
 ずして讀むべからざるなり  
 其の意を考へて讀むべし其  
 の意を考へずして讀むべから  
 ざるなり其の意を考へて讀  
 むべし其の意を考へずして  
 讀むべからざるなり其の意  
 を考へて讀むべし其の意を  
 考へずして讀むべからざる  
 なり其の意を考へて讀むべ  
 し其の意を考へずして讀む  
 べからざるなり其の意を考  
 へて讀むべし其の意を考へ  
 ずして讀むべからざるなり

此書を讀むに當りては其の意を  
 考へて讀むべし其の意を考へ  
 ずして讀むべからざるなり  
 其の意を考へて讀むべし其  
 の意を考へずして讀むべから  
 ざるなり其の意を考へて讀  
 むべし其の意を考へずして  
 讀むべからざるなり其の意  
 を考へて讀むべし其の意を  
 考へずして讀むべからざる  
 なり其の意を考へて讀むべ  
 し其の意を考へずして讀む  
 べからざるなり其の意を考  
 へて讀むべし其の意を考へ  
 ずして讀むべからざるなり



















正八幡具徳殿歌



さきのよ

あまの

金あま

中村

中山

中山

いん

田舎

中山

中村

つら



あま

中村

小川

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま









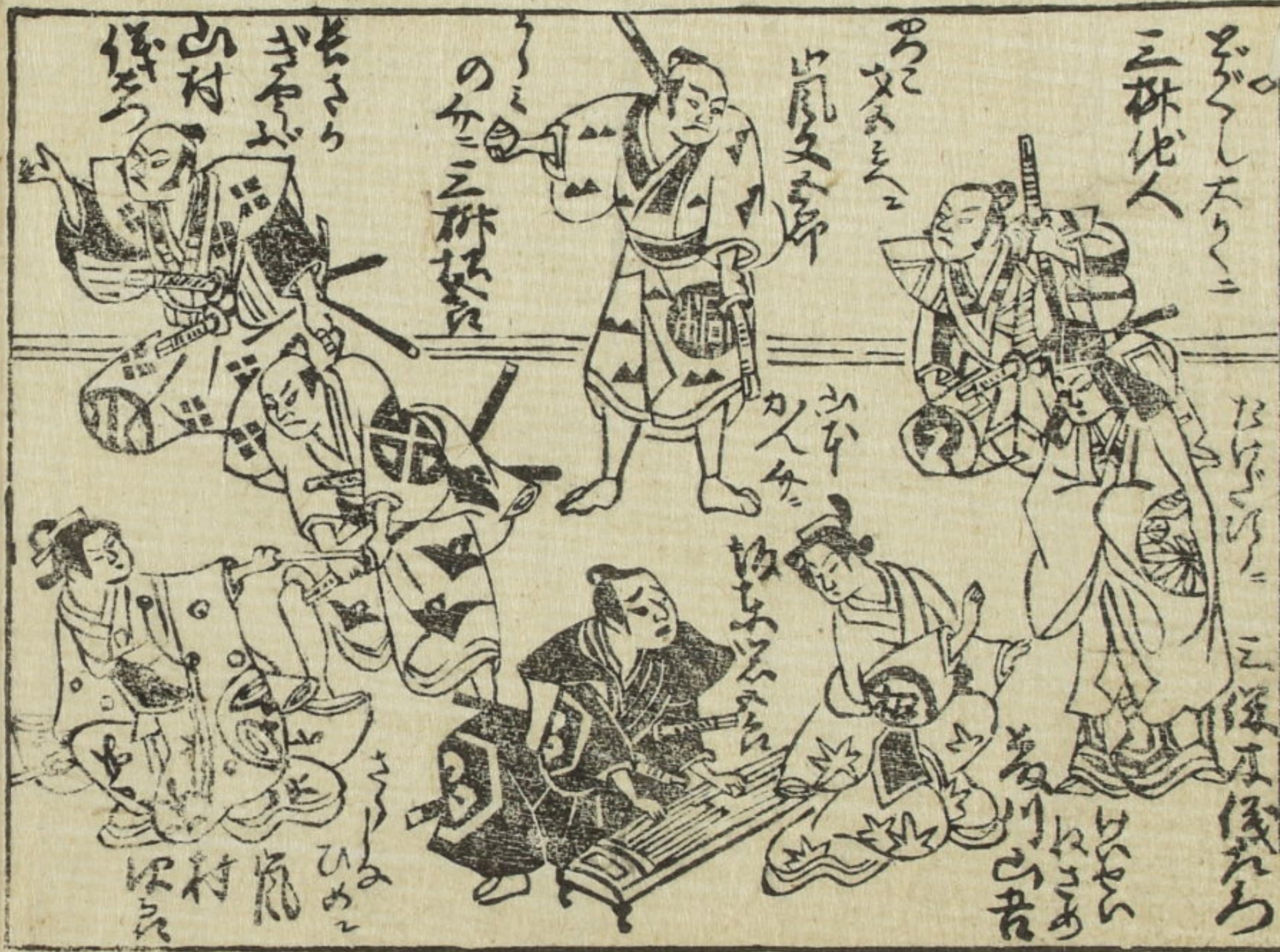








福  
土月七日ヨリ  
三  
番



三林代  
人

男  
文三

嵐文  
三郎

の  
介三林  
代

長  
三郎

山  
村

儀  
三郎

三  
郎  
三  
郎

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代



山  
村  
代

山  
村  
代

今  
村  
七  
三  
郎

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代

山  
村  
代



誓しつたし西中出雲の都を治す事

安永五年九月廿日

瑞光院の奥書 雁信士 藤倉

はるかにあつたことと云ふ事

聖吉 **中村方** 芳隆

不承不承に書きたる事と云ふ事  
はるかにあつたことと云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事

▲欲復く事

上吉 **坂本** 芳隆

図五の耳松年とて年の候に皇帝より御  
久なる事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事

あつた事と云ふ事と云ふ事

長らくの事と云ふ事

上上 **三津** 芳隆

図九の事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事

上上 **中村** 芳隆

図十の事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事

上 **後川** 芳隆

図四の事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
と云ふ事と云ふ事と云ふ事



▲若女形記

本極吉 兼中村宮十希 若女

図 若女形記 兼中村宮十希 若女  
と見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女  
らうと見ゆる若女形記 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女  
上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女

上上吉 兼中村宮十希 若女











加ろくひん

高車師の  
くまやうり

り  
柿乃素袍よ

付るよ

高車師のぬき

けろハ極色

新ハ所ハの

大ハ利ハ

江戸之甚居極後者同録

さうハ中村勲之布色

さうハ市村羽衣色

▲立役之部

⑤ 〇刀金三刀の銘鑿究折紙色の布  
極上吉 市川團十郎 中村

名作 代金千枚

上上吉 松本幸四郎 市村

宗象 代金八百枚

上上吉 坂東之彦ハ同色

器用 代金七百枚

上上吉 市川團十郎 市村

功者 代金六百枚

上上吉 沢村宗十郎 中村

令味 代金八百枚

上上吉 市川門之助 市村

令色 代金八百枚



上上書 市川八百彦 中村彦

上上書 坂東彦之希 齋田彦

上上書 山科富十希 日彦

上上書 須村渡又希 市村彦

上上書 尾上段三希 齋田彦

上上書 須村長十希 市村彦

上上書 市川泚彦 日彦

上上書 實代金 百投 中村彦

上上書 市川外彦 日彦

上上書 山下又希 日彦

上上書 市川深又希 上大臣彦 日彦

上上書 中村仲彦 中村彦

上上書 尾上松助 日彦

上上書 工吏代金 百投 市村彦

上上書 大谷友右希 市村彦

上上書 流助代金 百投 市村彦

上上書 大谷廣志希 市村彦

上上書 文吏代金 百投 市村彦

上上書 中村助又希 市村彦

上上書 強務代金 百投 市村彦

上上書 中傳三右希 市村彦

上上書 一派代金 百投 市村彦

上上書 坂東又希 日彦

上上書 勢守代金 百投 日彦

▲敵役之部

正次村務查中  
▲實惡之部



上上吉 中德高石為 德田

又下 伏金三百平投

上上吉 松本小沼市 中村

手多 伏金百平投

上上吉 市川宗之市 市村

後神 伏金百平投

上上 中德之南苑 中村

世勢 伏金百平投

上上 松本大 七日

中園 伏金百平投

上上 市川成苑 市村

一氣 伏金百平投

上上 坂東風又市 市村

情氣 伏金百平投

上上 坂東三 八日

一風 伏金百平投

上上 中村付 中村

坂東熊十市 市村

上上 市川友為 同日

坂村平右為 市村

上上 坂東嘉十市 市村

中村俊為 市村

上上 松本鉄又市 同日

坂村中 市村

上上 坂東多秀為 市川小市

二坂東利和為 市川

上上 市川經為 市川

市川仲市 市川

上上 坂東常市 中村仲八中

市川生和為 市川

上上 坂東八秀市 坂田内市

市川生和為 市川

上上 坂東井字為 中村秀為

市川生和為 市川

上上 坂東大市 大谷小市

市川生和為 市川

上上 坂東田作市 市川

市川生和為 市川

上上 市川島為 市川

市川生和為 市川



正市川新彦表一上坂本百松表  
正市川新彦表一上坂村宗吉表  
正市川新彦表一上坂村宗吉表

上上 大谷徳次 青丸  
仕合 代合 八百板

上上 若女形之助  
市川菊之丞 市川

上上 芳井半四郎 中村  
仕合 代合 八百板

上上 中村里好 日  
奇兼 代合 七百板

上上 芳沢あやめ 日  
乳娃 代合 七百板

上上 小市川常世 青丸  
兼用 代合 八百板

上上 中村常次郎 日  
仕合 代合 八百板

上上 市川乙女 市川  
仕合 代合 四百板

上上 市川市松 日  
仕合 代合 三百板

上上 山下万菊 中村  
仕合 代合 三百板

上上 中山三郎 市川  
仕合 代合 三百板

上上 市川吉次 中村  
仕合 代合 三百板

上上 市川吉次 市川  
仕合 代合 三百板

上上 市川吉次 市川  
仕合 代合 三百板

上上 市川吉次 市川  
仕合 代合 三百板

上上 市川吉次 市川  
仕合 代合 三百板



上 岩井 三ヶ八 中村

上 山下 八 東田

上 中村 万代 日産

上 坂田 萬の井 日産

上 市川 名和尾市 上芳以之末尾中

上 正山下 松空表 上中村 松代表

上 市川 高藤 表

上 市川 代合 百全表

上 尾上 五ヶ八 中村

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表

上 市川 示茂表 上中村 劫茂表



▲古史之部

上吉

中村物之布

上吉

中村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

上吉

市村物之布

▲方言化者之部

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

中村

河竹村新

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布

上吉

市川條之布








Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text with some characters enclosed in boxes.

上吉  松本幸三郎 市村

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text with some characters enclosed in boxes.



































とまふに平小のむの西の事さふは其後の  
徳の市日録に成るに幾時とあるに事  
本條佐の事等しく因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯  
因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯

▲ 新設之款

上上吉 中徳助右馬 湯  
因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯

上上吉 湯 松中 山江市 湯

因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯

上上吉 市川 宗之市 湯

因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯

上上吉 中徳 湯

因湯治の事と今  
の町の中流をいふことなるに事さふに  
上上吉 上東坂東又市市 湯















時萌於戸初雪 在春屋 墨後



らんばのりんぼ

又さき

丁七

嵐いさ

野

大谷

徳次

多うりつた

中村三浦

山科屋

あま

中村

久米

あこ

三平

三上

三郎

三郎

三郎



市

市

市

けのり

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

中村

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ



















上吉 中村勘之助

上吉 中村信九郎

因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書

真吉 市村勘右衛門

上吉 市村勘右衛門

因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書  
上吉 市村勘右衛門  
因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書

本美の如き

上吉 坂本又九郎

因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書

惣巻袖

本吉 回嵐 雛助 春吉

因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書  
上吉 坂本又九郎  
因美之屋敷自其母非と書月海より  
の夜にわらわらめりしと書美之屋敷  
美之屋敷の奴との事ありしと書  
美之屋敷の事ありしと書



時... 井... 難...

「徳人也... 居...」

又... 梅...

「...」

... 梅... 徳... 井... 難... 時... 又... 梅... 「...」 ...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...

劫... 劫... 劫...















